

令和7年度第3回 北九州市上下水道事業審議会 会議要旨

- 【日 時】 令和7年12月17日（水） 10：30～11：10
- 【場 所】 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム
- 【委 員】 小畑委員、尾原委員、後藤委員、権頭委員、
齊藤委員、林田委員、福地委員、吉本委員
〔50音順〕
- 【出席職員】 上下水道局長、総務経営部長、水道部長、浄水担当部長、
下水道部長、下水道施設担当部長、
経営企画課長、営業課長、広域事業課長、計画課長、設計課長、
配水管理課長、浄水課長、水質試験所長、下水道計画課長、
下水道保全課長、下水道整備課長、施設課長、水質管理課長、
総務課庶務係長、海外事業担当係長、経営企画課（事務局）

《議題及び報告》

◇議題

◆資料1「北九州市上下水道事業中期経営計画2030（素案）」について事務局から説明

◆資料1「北九州市上下水道事業中期経営計画2030（素案）」に関する質疑応答・意見

（委員）

資料1の資料編71ページに示すとおり、水道事業は費用の大部分を固定費が占める一方で、料金体系は変動費にあたる従量料金の割合が高いという特性がある。また、いずれ料金改定せざるを得ない状況にあると思うが、料金改定を行うと、水道利用者は節水に走ることが想定される。そのような中、この特性を踏襲したまま料金改定を行うと、固定費が賄えず、また赤字に陥ってしまうことが考えられる。

今後、料金改定を行う際は、固定費部分を賄えるように基本料金の割合を高め、収入を安定化させる方向で検討していただきたい。

（事務局）

ご指摘のとおり、人口減少や節水機器の普及等により使用水量の減少が見込まれる中で水道事業を維持していくためには、基本料金の割合を高めて固定費を賄う必要がある。他都市の料金改定の事例を見ても、基本料金の割合を高めることで、財源を確保していく状況にある。

今後は、まずは経営改善にしっかりと取り組んだうえで、将来の見通しや他都市の事例等も参考にしながら料金体系のあり方を検討してまいりたい。

(委員)

資料１の２３ページの上下水道一体での耐震化の推進では、令和１２年度までの目標値を示しているが、今後、経営改善に関する取組を十分行ったうえで、やはり料金改定の議論を行う展開になってくると思うが、令和１２年度以降の投資水準やその投資に関する現役世代と将来世代の負担割合を踏まえたうえで、水道料金の水準が決まってくると考える。水道料金の改定に関する議論を行う際は、そのような情報も提供していただきたい。

北九州市は給水収益に対する企業債残高の割合が既に４００％を超えており、さらに借入を増やしていくのは難しい状況にあると思われるため、少しシビアな議論をしていく必要があるかもしれない。

(事務局)

資料１の２３ページは上下水道一体での耐震化について、地震発生時に重要なインフラや避難所等を守るための目標を示しており、優先的に進めていくべきであると考えている。

また、それ以外の施設については、経営改善への取組の一環としている施設規模の最適化に取り組んだうえで、必要となる事業費を算出した後、事業費に係る財源として、企業債の充当額、水道料金で賄う額といったものを検討することになると考える。

(委員)

料金体系については、短期的な視点だけではなく、長期的な視点も含めて検討をしていただきたい。

審議会としては、次期中期経営計画の素案を了承するということでよろしいか。

(異議なし)

◇議題

◆資料２「答申（案）」について会長から説明

◆資料２「答申（案）」に関する質疑応答・意見

(委員)

資料１の資料編３ページの令和元年１０月と令和７年１月のアンケート調査結果によると、水質の安全性については関心が高くなっている一方で、安価な料金体系については重視すると回答した比率が減少したことから、料金については値上がりしてもしかたないというように読み取れた。

いずれは改定しないといけない状況になるものと考えているが、昨今の物価高騰の状況は落ち着いてくる時期がくると思われるので、そういったところを見計らって、水道料金の改定を行っていくのも北九州らしさかなという風に感じる。

北九州市の水道料金の安さ、高い安全性、供給に関しても恵まれた状況にあること、こういったことを市民に知ってもらいたいと思う。そのため、水道利用者の理解促進につながるよう、附帯意見としている広報にしっかりと取り組んでいただきたい。

(委員)

広報に関する意見として、本日配布されている上下水道局のノベルティは大変人気であるため、引き続き活用することで利用者の理解や認知拡大につなげていただきたい。

(委員)

その他意見がないようであれば、答申案を審議会の答申とさせていただいてよろしいか。

(異議なし)

(事務局)

本日はお忙しい中、本審議会にご参加いただき、お礼申し上げます。

また、令和6年度以降、計4回の審議会を通じて次期中期経営計画策定に当たり、ご意見・ご議論をいただいたことについて、重ねてお礼申し上げます。

今後はパブリックコメントの手続き等を経て、計画の成案を策定していくが、市民生活を支える上下水道事業を安定的に運営していくためには、本計画に掲げた事業を着実に実施するとともに、経営基盤強化に向けた取り組みを推進する必要がある。

そのため、来年度以降も審議会を開催し、本計画の進捗状況の確認や、経営基盤強化に向けた取り組みについてもご意見を伺いたいと考えているため、引き続き、ご協力をお願い申し上げます。